

施策番号	2503		
施策名	都市活動を支える社会資本の維持管理		
概要	道路や橋りょうなど市民生活に不可欠な社会資本の維持管理について、日々の点検とともに、これまでの「壊れてから直す」対処療法的な維持管理から、「壊れる前に対策する」予防保全型の管理手法に移行し、計画的かつ効率的に推進する。		
担当局・部室	建設局・土木管理部	共管局・部室	
上位政策	25 道と緑		
施策に関係する 主な分野別計画等	いのちを守る 橋りょう健全化プログラム		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 生活道路における舗装アセットマネジメント導入率(%)	c	b	25	25	10.7ポイント増	0.0%	e	1.00	
2 幹線道路における舗装アセットマネジメント導入率(%)	a	e	78	100	22ポイント増	100.0%	a	1.00	
3 橋りょうにおけるアセットマネジメント導入率(%)	a	a	31.7	88.8	88.8	100.0%	a	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	c	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。	31	165	186	78	45	505	c	
	6.1%	32.7%	36.8%	15.4%	8.9%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					25 年度	C
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 舗装や橋りょうのアセットマネジメントについては、市民がその成果を直接実感しにくいいため、客観指標評価を重視する。						24 年度	B
(原因分析) 【客観指標】●生活道路における舗装アセットマネジメント導入率については、土木事務所職員が実施する道路パトロールに基づくものであるが、昨年の台風18号による災害対応を優先したことなどにより進捗させることができず、b→e評価と悪化した。 ●幹線道路における舗装アセットマネジメント導入率については、平成24年度補正予算を活用し、残箇所全てについて点検を実施したため、e→a評価と改善した。 ●橋りょうにおけるアセットマネジメント導入率については、平成23年12月に策定した「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づき、23年度から取組を実施し、計画どおりに進捗しているため、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】道路の舗装や橋りょうへのアセットマネジメント導入については、市民がその成果を直接実感しにくいいため、昨年度に引き続きc評価となっている。							

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	都心部における道路管理に関する調査	13,374	17,146	—	建設局
2	原谷地区整備	49,848	50,000	—	建設局
3	道路改良	94,939	16,846	—	建設局
4	橋りょうの点検	85,835	114,068	—	建設局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

<ul style="list-style-type: none"> ●今後も、道路の舗装アセットマネジメントや橋りょうのアセットマネジメントを積極的に取り入れ、予防保全型の維持管理を行うことにより、計画的・効率的な社会資本の維持管理に努める。 ●道路の舗装アセットマネジメントについては、幹線道路については点検目標を達成したものの、生活道路については未点検箇所が残っているため、引き続き、目標達成に向け取組を進めていく。 ●橋りょうのアセットマネジメントについては、平成23年12月に策定した「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」に基づき、引き続き取組を推進する。 ●また、関係機関と連携しながら、通学路を含む生活道路の安全確保に向けた取組を進めていく。
--

施策名	2503	都市活動を支える社会資本の維持管理				
指標名	生活道路における舗装アセットマネジメント導入率(%)					
担当課	土木管理課		連絡先	222-3568		
1 指標の説明						
生活道路の計画的、効率的な維持管理に必要となる点検を実施した生活道路の割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
生活道路の維持管理にアセットマネジメントを導入し、計画的に修繕を行っていくための指標			算出方法：点検済延長÷点検対象延長 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	25	25	増減なし	10.7ポイント増	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	0.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		100	32年度	25.0%	完全導入を目指す。	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
単年度の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		目標年次までに完全実施するために必要な進捗割合(%)を単年度目標とし、財政状況の寄与度が比較的高いことから、80%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		24	25	26
				c	b	e
指標名	幹線道路における舗装アセットマネジメント導入率(%)					
担当課	土木管理課		連絡先	222-3568		
1 指標の説明						
幹線道路の計画的、効率的な維持管理に必要となる点検を実施した幹線道路の割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
幹線道路の計画的かつ効果的な維持管理を行う取組状況を示す指標			算出方法：点検済延長÷点検対象延長 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	78	100	22ポイント増	22ポイント増	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	100.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		100	32年度	100.0%	完全導入を目指す。	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
単年度の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		目標年次までに完全実施するために必要な進捗割合(%)を単年度目標とし、財政状況の寄与度が比較的高いことから、80%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		24	25	26
				a	e	a

施策名	2503	都市活動を支える社会資本の維持管理
-----	------	-------------------

指標名	橋りょうにおけるアセットマネジメント導入率（％）
-----	--------------------------

担当課	橋りょう健全推進課	連絡先	222-3561
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

橋りょうの計画的、効率的な維持管理に必要となる点検を実施した橋りょうの割合

2 指標の意味

橋りょうの維持管理にアセットマネジメントを導入し、計画的に修繕を行っていくための指標

3 算出方法・出典等

算出方法：点検済橋りょう数÷管理橋りょう数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	31.7	88.8	57.1ポイント増	88.8	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		100	28年度	88.8%	「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」第1期プログラム（H24～H28）に基づき、本市の管理橋りょう全てに導入

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・目標年次までに全ての橋りょうの点検を実施するために必要な進捗割合。
・財政状況の寄与度が比較的高いことから、最新数値を目標値と比較して、達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
a	a	a